

2014 年応用物理学会春季学術講演会企画にあたって

応用物理学会講演会企画運営委員長 益 一哉

2014 年第 61 回応用物理学会春季学術講演会は、青山学院大学相模原キャンパスにて開催されます。今回、40 の口頭発表会場と 2 ヶ所のポスター会場で、17 の大分類分科と合同セッションにおいて 3526 件の発表（うち口頭講演 2660 件、ポスター発表 866 件）が行われます。これに加えて、5 件のチュートリアル講演（各 3 時間）と、27 テーマのシンポジウム（うち、特別シンポジウム 3 テーマ）が開催されます。1 つの中分類分科と 2 つのシンポジウムが、English セッションとして開催され、さらに英語発表を推奨する大分類分科が 1 つあります。また、ポスター会場には、150 以上の企業・団体が出展する展示会も併設いたします。

厳しい経済情勢が続く中、例年以上の一般投稿件数となり、より一層盛り多き講演会となると確信しております。一昨年春季学術講演会より導入した発表形式（口頭、ポスター）希望の入力も定着し、今回、口頭発表希望は全体の約 75% で、登壇者の希望ベースでプログラム編成を行いました。特別シンポジウム以外の全てのシンポジウムでは、一般講演の発表を受付けて、より開かれた意見・情報交換の場となるように配慮し、特に、分科企画として採択したシンポジウム（21 テーマ）は、関連分野の一般セッションと重複しないように日程調整しています。また、一般セッションにおいては、一般投稿の中からも招待講演を厳選し、魅力あるセッション作りを行いました。ポスターセッションを盛り上げる取り組みとして、2013 年春季講演会から、優秀なポスター講演を選定し表彰しております。これにより、ポスター講演への関心が高まり、知的好奇心が刺激される場としてポスターセッションがより一層充実していくことを期待しています。

また、講演会企画・運営の質的向上を目指し、会期中に全ての大分類分科毎に、各分科の委員と講演会参加者の間で、自由な意見交換ができる場（意見交換会）を設けていますので、積極的にご参加下さい。分類の見直しによる再編、プログラム編集委員や講演会企画運営委員の選出、英語セッションの導入・拡大、プログラムの編成などに関して活発な意見交換を期待しています。

今回のトピックスとして以下の 3 テーマの特別シンポジウムが開催されます。

特別シンポジウム「応用物理分野で活躍する女性達～第 2 回フォトニクス編～」

特別シンポジウム「SSDM 特別シンポジウム（固体エレクトロニクス研究の最前線）」

特別シンポジウム「産学連携の新パラダイム－日本のモノ作り再生に向けて－」

本会副会長でもある総合科学技術会議議員久間和生氏による特別講演もごございます。また本会に関わる受賞記念講演として、業績賞、研究分野業績賞（宅間賞、林賞、赤崎賞、小館賞）、講演奨励賞、シリコンテクノロジー分科会賞、光学論文賞の受賞記念講演が予定されています。恒例の「博士のキャリア相談会」も開催致します。

講演プログラム及び講演会場、展示企業及び展示ブースなどが昨年同様、iPhone と iPad 及び Android のアプリで提供されていますので是非ご利用ください。これを使えば、講演会場の号館や展示会のブースの場所がスマートフォンの表示画面でキャンパス地図から案内される他、講演者や講演タイトル、講演時間なども簡単に検索できます。従来に引き続いて、託児室の設置も行っていますので、ご利用ください。学会としては非公式ではありますが、Facebook や Twitter などでもニュースやイベントの紹介をしております。学会における Facebook や Twitter の使い方はまだまだ白紙状態です。参加者の皆様には是非とも育てていただきたいと思います。

展示会場（JSAP EXPO Spring2014）では、JSAP フォトコンテスト（Science as Art）の開催や、恒例のスタンブラリー等も企画されていますので、奮ってご参加ください。さらに、展示会出展会社によるランチョンセミナーを初めて開催いたします。参加者にとって活力を生み出す有意義な学術講演会になるよう願っております。最後になりましたが、講演会場をご提供いただいた青山学院大学と現地実行委員の先生方に深く感謝いたします。